

茶の湯の継承 千家十職の軌跡展

千利休を祖とする千家のお好みの茶道具を作り続けてきた十の職家たち。
その数百年もの間、美意識のDNAが受け継がれてきた茶道具約250点を展観します。

会期：8月31日(水)～9月12日(月)

午前10時30分～午後7時【午後7時30分閉場】※最終日は午後4時まで【午後4時30分閉場】

会場：日本橋三越本店 新館 7階ギャラリー

入場料：一般・大学生800円 高校・中学生600円[小学生以下無料・税込]

主催：茶の湯の継承千家十職の軌跡展実行委員会、日本橋三越本店

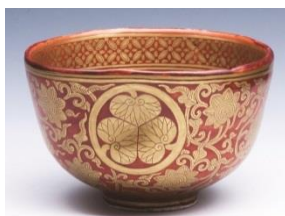
共催：読売新聞社

特別協力：表千家不審菴、裏千家今日庵、武者小路千家官休庵

監修：林屋晴三(東京国立博物館名誉館員)

茶の湯の大成者である千利休から400年以上も続く千家の茶道。その千家好みの茶道具を作れる十の職家を「千家十職」といいます。

大正12年5月、三越大阪店にて「千家十職茶器陳列会」を開催し、そこで「千家十職」が命名されました。本展では、三千家の各お家元に代々伝わる「名品」「代表作」をはじめ、千家十職の各職家や美術館所蔵の茶道具を一堂に展観します。この機会にぜひ、千家十職が作り出した日本の美の神髄をご堪能ください。



永樂家(土風炉・焼物師)
「金欄手葵御紋茶碗」
十一代保全作



樂家(樂焼・茶碗師)
「黒樂茶碗 銘万代屋黒」
初代長次郎作



大西家(釜師)
「笠釜 銘時雨」
初代浄林作



飛來家(一閑張細工師)
「菊香合」
初代一閑作



土田家(袋師)
「ウロコ鶴間道仕服 即中齋好」
十二代友湖作



中村家(塗師)
「凡鳥棗 庸軒好」
初代宗哲作



黒田家(竹細工・柄杓師)
「竹一重切花入 銘帰雁」
初代正玄作



奥村家(表具師)
「三千家三幅対」



駒澤家(指物師)
「八角桐木地菊絵菓子器
了々齋好」
八代利齋作



中川家(金物師)
「青磁墨座三足平香炉
(青磁二見香炉)
穂家・銀製二見ヶ浦夫婦岩」
九代浄益作

報道関係者様 お問い合わせ：
(株)三越伊勢丹ホールディングス 広報
TEL 03-6205-6003 FAX 03-6205-6009



this is japan.

MITSUKOSHI